

新年会で見本市中止問題の 日本展示会協会

解決を訴える

展示会の開催に関わる企業・団体で構成されている日本展示会協会（以下、日展協）は1月12日、新年懇親会を開催した。冒頭の関係者挨拶では「見本市中止問題」についての言及が相次いだ。40年前から欧米の国々は「展示会は経済活性化と経済発展のためのエンジン」と位置づけて経済発展を遂げ、中国も同様に経済発展を続けている。しかし、日本は東京オリンピック開催に伴い、数多くの展示会が開催される東京ビッグサイトを20力月にわたり使用中止とする予定となっており、「見本市中止問題」として多くのメディアで取り上げられている。



石積会長

石積忠夫会長（リード エグジビションジャパン社長）は、この問題について、「多くの展示会が大幅に縮小、もしくは中止になるとわかり、我々は大きなショックを受けた見本市は、復活が困難な状況にある」と述べた。

新年初売りから 好調なスタート エトワール海渡

総合卸商社のエトワール海渡は1月4日、新年恒例の「開運初売り」を開催した。多くの会員顧客が来店したため開店時間は通常より1時間早い8時とし、太鼓集団「鼓粋（こすい）」による祝い太鼓の演奏で出迎えた。また、豪華景品が当たる空くじなしの開運抽選会も実施し、待ち時間も楽しんでもらえるようにもてなした。

難だと強調した。が万全の手を打ったと聞いている。我々はオリンピックの過去のオリンピック例年と同じ規模で展示会では、展示会が中止が起きないよう、政治・行政望している（石積会長）



も初売りから開催しており、新年から積極的に商品や売場づくりの提案を行っている。



2月の展示会「桜と金箔展」

人事異動

◆カネボウ化粧品、人事異動（1月1日付）

お客様対応室長（カネボウ化粧品販売近畿支社京滋支店長）草野真臣▽兼カネボウ化粧品品質保証部門技術渉外グループ部長（花王品質保証部門信託性保証・技術渉外部長が本務）（花王品質格。

◆大和製罐、元副社長・山口勇氏の「お別れの会」を開催

大和製罐は2月14日、ホテルニューオータニ東京「芙蓉の間」（ザ・メイン宴会場階）で、2017年12月12日に逝去した元代表取締役副社長・山口勇（やまぐち いさむ）氏（享年76）の「お

私の H & B 日記

商品ストーリー性があり、モノが溢れ、大量生産大量消費時代を省みるかのように、商品のプロセスを重視したブランドの価値観が支持される時流を迎えた。化粧品もまた、原料素材のトレーサビリティをはじめ開発の経緯などから、作り手

AIストーリー

械化・自動化を進め、安定的な品質で安定的に量産する作り手が増えたという背景もあるが、それはさておき、その機械化・自動化では明治時代の静岡県というが、1955年には日本一の産地となり、

と無意識の領域があり、そのほとんどが無意識での活動だといえる。脳が意識した活動間中心主義的な思想、良くも悪くも人間くさい考え。これさえも、きつとAIは獲得してしまうのだろう。（菅

AIストーリー

AIストーリー

AIストーリー

AIストーリー

AIストーリー